

# かがわり方を考えよう！

## 3 エピソード

### 子ども同士のけんかに親がかかわり

裕太くんは小学1年生。お母さんからみると優しい子ではありますが、少々気が小さいようで、クラスでも思ったことがはっきりと言えない点が心配です。でも、毎日元気に「行ってきます」と言ってお学校に出かけていくので、友達もいて、学校もまあ楽しいのだろうと安心していました。ところが、ある日学校から帰ってきた裕太くんの様子がいつもと違うように、お母さんは感じました。そこで



母 「裕太、どうしたの？学校で何かあったの？」  
裕太 「ううん、何でもないよ」  
母 「そう、ならいいんだけど……。おやつあるわよ、食べる？」  
裕太 「うん、いまいいよ、後で食べる」  
いつもなら嬉しそうに、お母さんの見える居間のテーブルで、大好きなドーナツや、クッキーを牛乳と一緒に食べるのに、すうっと、自分の部屋に行っちゃいました。お母さんはなんだか気になったので、部屋の前に行ってみると、鼻をすするような音が聞こえてきたので、トントンとノックをして部屋に入り、  
母 「どうしたの、誰にも言わないから、お母さんに何があったか言ってみて」  
しばらく裕太は何も言わず口を真一文字にしていたが、  
裕太 「ほんとに誰にも言わない？」と、言って、ランドセルから二つに折れた下敷きを出してきました。  
母 「どうしたの？これ裕太が大事にしていたアニメの下敷きじゃない！自分で折ったの？」  
裕太 「ちがうよ！俊夫くんが……」  
と言ったきり泣きじゃくり始めました。お母さんは、仲良しのはずの俊夫くんがどうして？と思いましたが、内気な裕太くんが泣いている姿を見て、「なんてひどいことを！」と怒りがこみ上げてきました。



#### 1 裕太の気持ちを考えましょう。母の気持ちを考えましょう。

裕太の気持ち

母の気持ち

#### 2 あなたが裕太のお母さんだったらどうしますか？

- ア 裕太との話で収める。
- イ お父さんに相談する。
- ウ 俊夫くんの家で電話する：何というのか？
- エ 担任の先生に連絡する：どのように相談する？
- オ 周りの保護者に相談する。
- カ いじめ問題として校長や教育委員会に相談する。
- キ その他（ ）

#### 3 その後の話の展開を考えて見ましょう。

その後の展開：

親を学び伝える学習プログラム

富山県教育委員会 生涯学習・文化財室

平成20年3月発行 平成24年2月増刷

〒930-8501 富山市新総曲輪1番7号 電話 076(444)3435